

新年特別号

あきた 広報

★新春市長コラム
 『2022年 未来のために、
 行動する年に、』
 ★ 広報あきた 2000号 70年
 ありがとう&これからも



建都400年



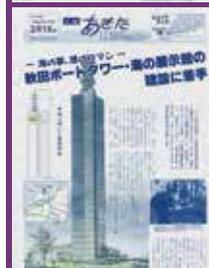
東北六魂祭



新庁舎完成!



A4判サイズに



市制100周年



創刊号!



まごころ国体



2022年 未来のために、行動する年に



秋田市長 ● 穂積 志(もとむ)

新春市長コラム

日々「心」



明けましておめでとうございます。今年の新年号は、昭和26年7月15日の「広報あきた」創刊以来、記念すべき2000号となりました。

創刊後、最初の新年を迎えた昭和27年、辰年の新年号を紐解くと、当時の武埴祐吉市長は、「年の暮れと、年の始めの差は時間的には、一秒時にすぎないが、気構えに於ては、天にのぼる龍の意気と、地にもぐるモグラの相違がある。きのうまで、体力的にも精神的にも、縮んでいたものまでが、年の始めには『今年こそは』と、希望に燃え胸にこみ上げる昂奮である」と、新たな年に臨む意気込みを記しています。

「龍虎の戦い」というように、勢いの盛んなものとして龍と並び称される虎。活力に満ち、行動力があるさまは、一日に千里の道を進み、千里の道を帰るといわれます。寅年の今年、6代前の市長である大先輩の言葉にも刺激を受け、未来のために、力強く、行動する年にしたいと、私なりに決意を新たにしています。

みなさまにとって、明るく、希望にあふれる一年になることを心からお祈り申し上げます。



キッチンカーのある風景

昨年、市役所前の市民の広場に移動販売車、いわゆるキッチンカーが登場しました。コロナ禍の逆境を乗り越えようとする飲食店のかたがたを、少しでも後押ししたいという思いと、市の新たな財源確保の方策として広場の一面を貸し出す試みで、6月から8月まで試験的に行った取り組みが好評だったため、改めて出店者を募り9月から11月にも実施したものです。



ホットドッグにラムサンド、牛タン焼き、カレー、ナポリタン、ピザ、メロンパンなど、日替わりで登場するメニューは多彩で、ここでは紹介しきれないほどです。おしゃれで個性的なキッチンカーは眺めているだけでも楽しい気分になりました。

よく晴れた日、仲良く手をつないだ親子が何やら相談しながら注文する微笑ましい光景。山王周辺で働く人たちが遊歩道のベンチで昼休みを過ごす姿。冷たい雨の日、雨宿りのため、ちょっと離れた市役所の屋根の下に、自然と注文の列を作るお客さん同士の気



■3月21日にオープンした文化創造館



■3月13日に行った泉外旭川駅開業記念式典

違い。キッチンカーの「コマ」を通して、季節の変化とともに、人々の穏やかで何気ない日常の営みも感じられ、どんな天気の日も「良い天気だな」と思えてきます。

平成28年4月に行った新庁舎完成記念式典のあいさつの締めくくりに、私は、「この新庁舎のもとで、本市の新しい歴史のページがスタートします。市民が気軽に集い、語らう場となり、四季折々の庁舎の姿が新たな秋田市の風景の一つとして、市民のみなさまの心に刻まれていくことを祈念します」とお話したと記憶しています。当時思い描いた理想の庁舎の姿に、少しづつ近づいているように思えて、大変うれしく感じています。

「レトロニム」 再命名で見える役割



冒頭で紹介した武埴市長の話にある、旧年と新年を分ける「一秒時」。「チクタク」と一秒をかみしめるように進むステップ秒針というタイプの時計は、時を刻むイメージを形にしてくれます。対して、文字盤の上を秒針がスーッと進むタイプは連続秒針という一方で、こちらは、絶え間なくつながる時の流れを感じさせてくれます。

このアナログ時計。もとは単に時計と呼ばれていたものが、デジタル時計の登場によって、区別のためにアナログが付け足されました。このように、新語と区別するため、呼び名を付け直された言葉を「レトロニム」という

そうです。「和服⇄洋服」「フィルムカメラ⇄デジタルカメラ」「固定電話⇄携帯電話」「ガラケー⇄スマートフォン」「リアル店舗⇄オンラインショップ」なども同じで、国際化や技術革新が理由と分かります。これらの「レトロニム」、新しいものに取って代わられたという印象を持つてしまいがちですが、改めて考えてみると、それぞれの持つ個性や価値を見直されて、私たちの生活の中でしっかりと役割を果たしていると気づきます。

昨年の市長選挙では、公約に「デジタル市役所」の実現を掲げました。市民のみなさまの利便性向上と行政運営の効率化、コロナ禍などによる社会変容に対応していくために不可欠な取り組みです。押印廃止やデジタル化を進め、昨年10月からは住民票の写しや所得・課税証明書など、一部、申請から決済までオンラインで完結できるようになりました。

取り組みは始まったばかりですが、将来、市役所に足を運ばなくても各種手続きが可能となり、「デジタル市役所」が浸透したとき、今の市役所は「リアル市役所」と呼ばれることになるかも知れません。そのとき、「リアル市役所」が市民のみなさまにとってどんな存在でありたいか。どんな価値を生み、どんな役割を果たすべきか。そのことに思いを巡らすことは、デジタル化を進めるもう一つの大きな意義であり、私自身も含め、職員一人一人が心に留めるべきことと思っています。

(4ページへつづく)

*「レトロニム」(retroonym) = 「過去」を意味する「レトロ」(retro)「ニム」名称などを表す「onym」の合成語

公約を 着実に実行

市長4期目が
スタートして、

8か月が経過しました。公約には、

▶ 新型コロナウイルス感染症対策

▶ 中心市街地と外旭川地区におけるまちづくり

▶ デジタル化の推進

▶ さらなる産業の振興と雇用の創出

▶ 子どもを生み育てやすい環境づくり

▶ 高齢者などが活躍できる

すべての人にやさしいまちの実現

▶ 芸術文化・スポーツ・観光によるまちづくり

▶ 地球温暖化対策の推進

▶ 安全・安心なまちづくり

▶ 市民協働と教育の充実

という、アフターコロナも見据えた10項目47プランを掲げました。3期12年にわたり、元気な秋田市を次世代につなぐため、さまざまな課題に真摯に取り組んできました。その成果と経験を土台に、新たな取り組みを盛り込んで設定したものです。

4期目初登庁時(4月5日)



命とくらしを守り抜くために

とりわけ、新型コロナウイルス感染症対策については、「命とくらしを守り抜く」という強い決意のもと、保健所はもとより、全庁も挙げて最優先で取り組んでいます。ワクチン接種は、高齢者、保育士、教職員、妊婦、受験生など、優先度も考慮しながら進め、昨年11月に希望者への2回目の接種をおおむね終え、3回目の接種が円滑に実施できる体制を整えております。

ワクチン以外にも、市立の小・中・高等学校や保育所などに抗原検査キットを配布したり、市役所内に開設した民間の「新型コロナウイルスPCR検査センター」で無症状者への検査を実施するなど、感染状況に応じ、安全・安心につながる対策を積極的に講じてきました。

さらに、事業者や家計への支援として、売上が減少した飲食業者への支援金支給、子育て世帯などへの商品券配布、プレミアム付き



ワクチン接種会場を視察する市長(中央)

商品券発行、離職者などへの資格取得支援、県が創設した当初3年間を実質無利子とする融資制度に関し4年目以降の利子を負担する無利子融資制度など、本市独自の支援策に取り組んできており、今後も効果的な対策を講じてまいります。

写真で振り返る2021



6月8日に市役所で行われた、東京2020オリンピックの聖火リレー点灯式



4月、まちなか観光案内所が大町にオープン! まちあるき観光の充実にも



着実に前進

中心市街地のまちづくり

「まちの顔」である中心市街地の活性化は、平成27年の県・市・JR東日本の三者による連携協定締結や、平成29年の第2期中心市街地活性化基本計画の策定を契機に、官民の取り組みが活発化し、地価の上昇にもつながるなど、成果が具体的な形で現れてきています。柔らかな肌触りの芝生やベンチで、家族や学生が思い思いに過ごす秋田駅西口駅前広場。新たな表現や創作の場に、子どもから大人まで、自由に立ち寄り楽しむ文化創造館。



建設中のあきた芸術劇場



多彩な催しを楽しめる文化創造館



秋田駅西口のイルミネーション

どちらも、開放的な空間に、穏やかで心地よい時間が流れ、今後も市民のみなさんの魅力的な使いかたの可能性が広がります。

今年6月には「あきた芸術劇場ミルハス」も開館予定です。一步一步、着実に進化する中心市街地へ、ぜひ足を運んでいただきたいと思っています。

若者が未来を思い描けるように

外旭川地区のまちづくり

中心市街地のさらなる活性化とともに、若者が未来を思い描けるまちづくりの視点から、新たな政策展開が求められます。

コンパクトシティというまちづくりの方向性を基本としつつ、今後のモデルとして、外旭川地区において、民間の知見やノウハウなどをいかし、AIやICTなどの先端技術を活用したまちづくりとあわせ、卸売市場の再整備や新スタジアム整備を進めたいと考えています。年度内に公募で事業パートナーを選定し、新年度に基本構想を策定したいと考えており、市民のみなさまや市議会のご理解を得ながら、検討を進めてまいります。

◆ 今後も、「ともにつくりともに生きる人・まち・くらし」の基本理念のもと、公約の実現を図り、若者が将来に希望を持ち、進みたい未来や生き方を選択できる社会の実現に向け、全力で取り組んでまいります。本年もどうぞよろしくお願いたします。



11月22日、中国・南寧(なんねい)市との友好都市提携協定調印式をオンライン通信で行いました



10月17日に開催された広小路バザール。感染症対策も万全に、会場はにぎわいました！

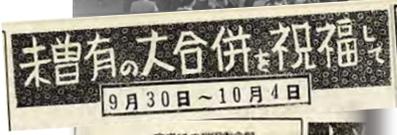


2000号70年 広報あきた ありがとう&これからも

広報広聴課 ☎(888)5471



合併を祝う、さまざま
な催しが開かれました



周辺の12か村を合併
昭和29年9月1日号(65号)



山王体育館開館
昭和29年8月10号(64号)



広報あきた
創刊!

★今から70年前に産ぶ声をあげた「広報あきた」は、
今号で2000号になりました！ 昭和・平成・令和
と、秋田市の「いま」を伝えてきた表紙や写真とと
もに、そのおもな出来事を振り返ってみましょう！

(記載した名称などは、一部、当時の広報掲載時のものを引用しています)

昭和26年7月15日号。創刊号のお
もな見出しは「今年の市民税きまる」
「秋田市の建設事業は進む」など。タ
ブロイド判の2ページで、月1回の発行
でした(11月以降月2回に)

おもな出来事 〜昭和編〜

昭和27年 第1回秋田市成
人式開催

昭和28年 秋田市建都350年
昭和29年 市立秋田病院開
院／秋田市周



2代目市庁舎

辺の12か村(太平・外旭川・飯島・
下新城・上新城・浜田・豊岩・仁井
田・四ツ小屋・上北手・下北手・下
浜)を合併／山王体育館開館

昭和30年 金足村を秋田市に合併

昭和33年 秋田市美術館が千秋公園に開館

昭和35年 市の人口20万人突破

昭和36年 秋田民衆駅が開業／空港が新屋

割山に開港／秋田国体開催／市
民憲章制定／初めて秋田市総合
計画を策定



秋田国体開催

笑顔と親切、民泊家庭の
温かいおもてなしで、「ま
ごころ国体」として好評を
博しました。

昭和36年11月1日号(178号)



秋田民衆駅開業

鉄筋コンクリート2階
建て、敷地は以前の8
倍に。多くのかたに利
用され、平成9年に新
駅へバトンタッチ。

昭和36年9月15日号
(176号)



東京オリンピック聖火リレーが秋田市に

昭和39年9月20日号(248号)



千秋公園の市立児童動物園を移転・開園しました。



大森山動物園開園

昭和48年8月20日号(506号)



市電を廃止

昭和40年12月1日号(291号)



市庁舎が山王に完成

昭和39年10月20日号(251号)

旧土手長町(現千秋左留町)から新築移転しました。

昭和63年12月10日号

(1120号)



市の人口30万人突破

広報あきた500号
昭和46年9月20日号

発行が月3回に

広報あきた1000号
昭和60年8月10日号

平成・令和編へ
つづく...



昭和63年秋田駅のWeロード開通／市の人口が30万人を突破



パッサウ市庁舎での調印式

- 昭和37年 市の花にサツキを選定
- 昭和39年 東京オリンピック聖火リレー実施／3代目市庁舎が山王に完成
- 昭和40年 市電を廃止。馬車鉄道時代から75年の歴史に幕
- 昭和43年 市の木にケヤキを選定
- 昭和46年 山王大通り整備
- 昭和48年 浜田に大森山動物園開園
- 昭和49年 市内で豪雪被害、積雪117センチを記録
- 昭和50年 中央卸売市場が開場
- 昭和52年 茨城県常陸太田市と姉妹都市提携
- 昭和55年 竿燈が国の重要無形民俗文化財に／文化会館オープン
- 昭和56年 新秋田空港が雄和に開港
- 昭和57年 中国・蘭州市と友好都市提携
- 昭和58年 日本海中部地震発生／市文化振興条例を制定／中央図書館明徳館が開館
- 昭和59年 ドイツ・パッサウ市と姉妹都市提携／秋田駅前中央地区を整備／佐竹家が千秋公園を市に寄贈



3代目市庁舎落成式

秋田駅前中央地区を整備



昭和59年5月10日号(955号)

買物広場や地下駐輪場、商業ビルなどができ、多くの人でにぎわいました。



懐かしの駅前商店街「金座街」。取り壊し前のさよならセール(昭和58年)



雄和に秋田空港開港

昭和56年7月1日号(852号)

秋田〜東京間が1時間に短縮!



建都400年を迎える
平成16年1月5日号(1509号)



秋田新幹線こまち開通
平成9年3月28日号(1406号)

2000号 70年

広報あきた ありがとう&これから



秋田市が中核市に移行
平成9年4月11日号(1407号)

市制100周年を迎える
平成元年7月20日号(1142号)

建都400年の式典をオープン間もないアルヴェで開催しました。



広報あきた1500号
平成13年2月23日号

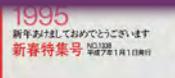
発行が
月2回に

おもな出来事／平成・令和編

- 平成元年 秋田市制100周年／千秋美術館オープン
- 平成2年 佐竹史料館オープン
- 平成3年 クアッドームザンブーンオープン
- 平成4年 アメリカ・キナイ半島郡と交流合意都市提携／ロシア・ウラジオストク市と姉妹都市提携／民俗芸能伝承館オープン
- 平成6年 ポートタワー・セリオンオープン／市立体育館オープン
- 平成7年 秋田公立美術工芸短大開学
- 平成8年 地蔵田遺跡が国指定史跡に
- 平成9年 秋田新幹線こまち開通／秋田市が中核市に／秋田自動車道全線開通
- 平成10年 秋田南大橋開通／日本文化デザイン会議'98秋田開催／秋田城跡外郭東門・築地堀を復元
- 平成11年 御所野学院中学校開校／秋田港に定期フェリー便が就航
- 平成12年 御所野学院高校開校／秋田駅ぼろーど全面開通／国連軍縮秋田会議開催
- 平成13年 市営ガス事業終了／千秋公園表門完成／秋田大橋開通／ワールドゲームズ秋田大会開催
- 平成15年 太平山自然学習センター「まんならめ」オープン
- 平成16年 秋田市建都400年／秋田拠点センターアルヴェオープン



ワールドゲームズ



秋田公立美術工芸短大開学
平成7年1月1日号(1338号)



セリオン&市立体育館オープン
平成6年4月10日号(1312号)



秋田大橋開通
平成13年12月14日号(1519号)



広報リニューアル
平成11年4月9日号(1455号)

A4判サイズ
& 現在の
タイトルロゴに

*平成12年度以降の広報は、市ホームページでご覧になれます。 <https://www.city.akita.akita.jp/city/pl/pb/koho/>



1市2町の
笑顔の輪!

秋田市・河辺町・雄和町が合併

平成17年1月11日号(1593号)



新庁舎開庁

平成28年5月6日号(1864号)



東北六魂祭を開催

平成27年5月15日号(1841号)



被災地にメッセージを

平成23年5月20日号
(1745号)

東日本大震災の被災地のみなさんへ、
思いを込めた寄せ書きをしました。



未来の
広報あきたは…

裏面を見てね♪

- 平成17年 秋田市・河辺町・雄和町が合併
- 平成18年 市営バスを廃止 / アメリカ・セントクラウド市と姉妹都市提携
- 平成19年 秋田中央道路開通 / 秋田わか杉国体・秋田わか杉大会開催 / 秋田市水道100周年
- 平成23年 東日本大震災発生
- 平成24年 家庭ごみ有料化始まる
- 平成25年 秋田公立美術大学開学
- 平成26年 国民文化祭あきた2014開催
- 平成27年 東北六魂祭2015秋田開催
- 平成28年 秋田城跡歴史資料館オープン / 市役所新庁舎開庁 / 土崎神明社祭の曳山行事がユネスコ無形文化遺産登録に
- 平成29年 北前船寄港地船主集落が日本遺産に / 新屋ガラス工房オープン / ねんりんピック秋田2017開催 / 旧秋田藩主佐竹氏別邸(如斯亭)庭園公開
- 平成30年 土崎みなと歴史伝承館オープン
- 令和2年 新型コロナウイルス感染症による影響拡大 / 下浜サンセットロード開通
- 令和3年 泉外旭川駅開業 / 文化創造館開館 / 東京2020オリンピックピック・パラリンピックの聖火リレー点灯式・採火式を開催 / 中国・南寧市と友好都市提携



秋田中央道路開通記念式典



感動の夏! 金農の夏!

平成30年9月7日号
(1920号)



ねんりんピック開催

平成29年9月1日号
(1896号)



国民文化祭を開催

平成26年10月17日号
(1827号)



秋田わか杉国体開催

平成19年9月21日号
(1657号)

